

専門部会（共通部会）での主な意見

H19.8.27 開催

1. 県立高校の配置について

地域や学校に現在の学校を維持したいとの思いがあるとするれば、中学校卒業生数や本県の財政状況という固定的な観点だけで考えるのではなく、例えば、生涯学習の観点から社会人を聴講生として受け入れたり、海外からの留学生の受け入れるなど柔軟に考える必要があるのではないかと。

2. 新しいタイプの高校について

総合学科について

多様な科目の中から選択履修することによって、自分の進路を考えたり、ものの見方や考え方を広げるという総合学科本来のねらいにそって考えると、今後、県内で導入できるとすれば、比較的生徒数が多い松江市と出雲市ではないかと。

志願者が少ない専門学科を総合学科の系列とすることは、専門的な知識・技能の深化という観点から考えると疑問である。

志願者が少ない専門学科は専門学科のコースとして維持するのが望ましい。例えば、農工科ということも考えられる。

課題としてあがっているもののうち、例えば、HR機能を重視するのであれば総合学科や単位制を導入するのはどうかということになるのではないかと。

中高一貫教育について

どのような人材を育成するのかということが大切である。

2. その他

生涯学習社会への対応

わずかな予算で、教員への負担が大きいと、教員の熱意によって支えられている。

特別支援教育への対応

特別支援教育について、保護者等に十分理解されていない。

保護者は個別的な対応を希望している。